

連合福島「男女平等推進フォーラム2024」開催！

★ジェンダー平等の推進、多様性を認め合う社会の実現に向けて★



半澤善伸事務局長のあいさつ

連合福島男女平等推進フォーラム2024は、12月9日(土) 15時～郡山市のビッグパレットふくしまにおいて、構成組織・地区連合から役員並びに若年層や女性組合員約130名が参加し開催された。

冒頭、主催者あいさつとして連合福島青年女性委員会・半澤善伸事務局長は、『現在、女性雇用者の半数以上が非正規雇用で働いており、正社員で見ても、女性の賃金は男性の7割にとどまっていると言われている。また、結婚や出産を理由に5割もの女性が第1子出産を機に離職しており、現役世代の低賃金や不安定雇用は、高齢女性の貧困にもつながっている。』

私たちは、様々な機会を通じて、男女間賃金格差の是正を訴えてきたが、昨年施行された女性活躍推進省令改正も機に、今こそその実現に向けて、社会全体で取り組むべきであると考えます。そのけん引役となるのは、私たち労働組合である。性別、年齢、国籍、障がいの有無、就労形態などにかかわらず、多様な人たちの声に耳を傾け、すべての人が平等で差別されることのない社会の実現に向けて、青年女性委員会のこれまでの活動を見直し、取り巻く環境に合わせ、さらに運動を発展させていかなければならない。その為にも、残り1年を切った連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズ1を着実に取り組み、意思決定の場への女性の参画を進めていく必要がある。青年女性委員会としてもしっかりと意見をしながら、着実に取り組んでいく決意である』と当日欠席の伊藤昭子代表幹事のメッセージを代読した。



澤田精一会長のあいさつ

続いて、連合福島・澤田精一会長は、『連合福島は、10月26日に開催した第37回定期大会において、2024～2025年度の運動方針を確立し、重点分野に位置づけし「ジェンダー平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された「真の多様性」が根付く職場・社会の実現」を目指すことを確認した。』

ジェンダー平等、多様性推進の取り組みは、人の能力や価値観、実績、人となりをみて、その人が評価され、人権が尊重される取り組みそのものであると考える。個々の人権が尊重され、全ての働くものの個性と能力が十二分に発揮できる社会、職場環境をめざして、労使一体となって取り組まなければならない』と挨拶した。



講師の小原成朗総合局長

その後、連合 総合政策推進局 総局長の小原成朗氏より、「ジェンダー平等の推進、多様性を認め合う社会の実現に向けて」と題し御講演頂いた。参加者からは、事例も交え分かり易い講演でジェンダー平等に対する関心・理解がより深まったとの声が多くあった。

参加者の皆様の理解・協力に感謝し、終了報告とする。